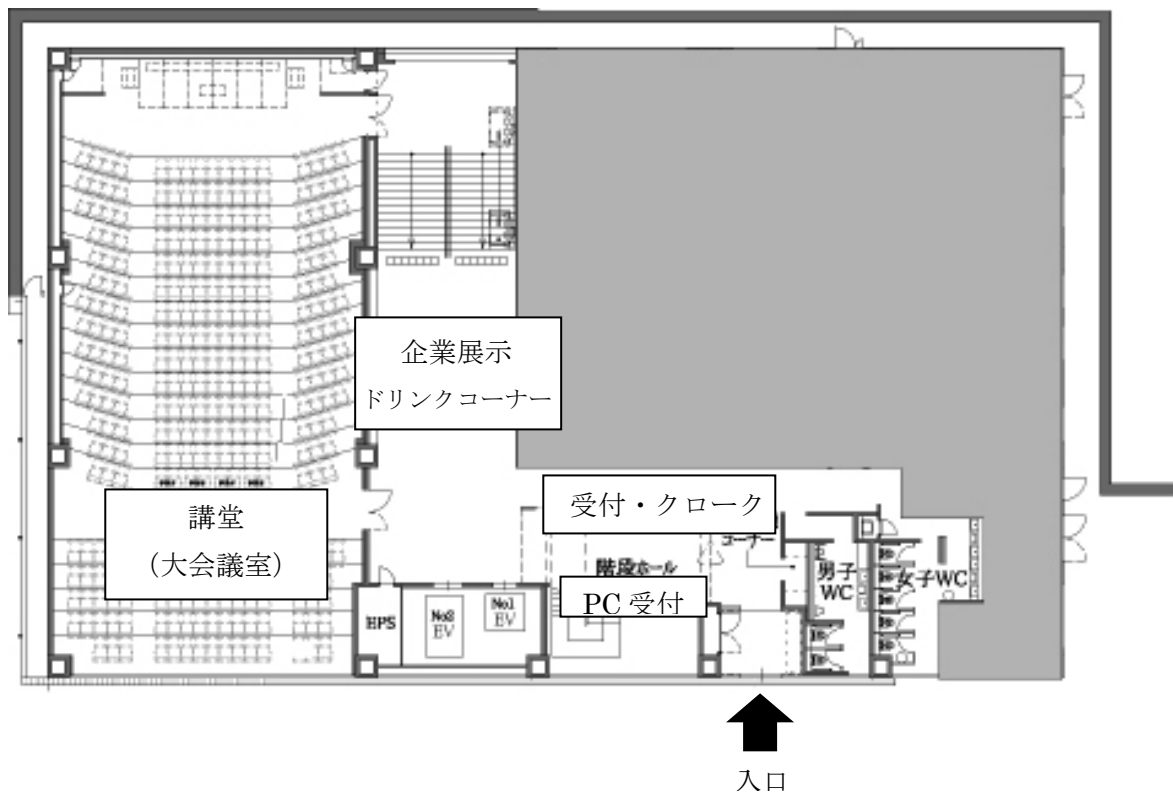


会場のご案内

地下1階



※本建物は聖隷浜松病院の施設で、本学会開催中も業務を行っております。

地下1階以外の階への立ち入りはご遠慮ください。

日程表

11月18日 (金) ハンズオンセミナー

| | | |
|-------|---------------------|--|
| 13:00 | あいさつ | 村越 毅 |
| 13:10 | IUT/PUBSレクチャー | 宮下 進 |
| 13:30 | IUT/PUBSデモ | 中田 雅彦 |
| 13:40 | IUT/PUBS実技 (グループごと) | 中田 雅彦、石井 桂介、小澤 克典、住江 正大 岩垣 重紀、芹沢 麻里子、松下 充 |
| 15:00 | TA-shuntレクチャー | 高橋 雄一郎 |
| 15:20 | TA-shuntデモ | 石井 桂介、笹原 淳 |
| 15:30 | TA-shunt実技 (グループごと) | 中田 雅彦、石井 桂介、小澤 克典、住江 正大 岩垣 重紀、芹沢 麻里子、松下 充 |
| 16:50 | 質疑応答 | 全員 |
| 18:00 | 懇親会 | |

日程表

11月19日（土） 講堂(大会議室)

| | | |
|-------------|---|-------------------|
| 9:20 | 開会の挨拶 | 村越 毅 |
| 9:30-12:30 | シンポジウム：胎児治療の新技术 Keynote lecture 『The Cutting Edge of Fetal Therapy: Surgical, Cellular, and Genetic Therapies for the Fetus』 Prof. Alan W. Flake (Children's Hospital of Philadelphia) | 座長：左合 治彦 金山 尚裕 |
| 休憩 | | |
| 12:45-13:30 | ランチョンセミナー・ライブデモ I 胎児治療における超音波診断装置の使い方： 特に、侵襲的胎児治療（胎児胸腔羊水腔シャント・臍帯穿刺・羊水注入） でのコツ 高橋 雄一郎（長良医療センター 産科） 岩垣 重紀（長良医療センター 産科） | 座長：馬場 一憲 |
| 休憩 | | |
| 14:00-14:35 | Session I 一般演題：胎児貧血・輸血 | 座長：室月 淳 |
| 14:35-14:56 | Session II 一般演題：心臓 | 座長：与田 仁志 |
| 15:00-15:42 | Session III 一般演題：双胎 | 座長：市塚 清健 |
| 休憩 | | |
| 16:00-16:42 | Session IV 一般演題：双胎間輸血症候群1 | 座長：高橋 雄一郎 |
| 16:45-17:20 | Session V 一般演題：双胎間輸血症候群2 | 座長：中田 雅彦 |
| 休憩 | | |
| 17:30-18:30 | 特別講演 I 胎児治療のパイオニア：技術革新と伝承 『胎児治療の黎明期』 千葉 喜英（千葉産婦人科 院長） 『シャントチューブ開発を振り返って思うこと』 小林 秀樹（福津中央ウィメンズクリニック 院長） | 座長：石井 桂介 |
| 19:30-21:30 | 懇親会 | |

11月20日（日） 講堂（大会議室）

| | | |
|----------------------------|--|-------------------|
| 7:45-8:45 | モーニングセミナー・ライブデモ ファントムを使用した胎児治療デモ（PUBS/TAS） 宮下 進（獨協医科大学病院 総合周産期母子医療センター産科部門） 石井 桂介（大阪府立母子保健総合医療センター 産科） | 座長：松下 充 |
| 9:00-9:45 | 特別講演 II 胎児治療の最先端 『Extracorporeal Support of the Premature Infant - Extending Fetal Physiology Beyond the Womb』 Prof. Alan W. Flake (Children's Hospital of Philadelphia) | 座長：北川 博昭 |
| 9:50-10:11 | Session VI 一般演題：LUTO | 座長：坂井 清英 |
| 10:15-10:36 | Session VII 一般演題：胸部疾患 | 座長：米倉 竹夫 |
| 休憩 | | |
| 11:00-11:42 | Session VIII 一般演題：外科疾患・その他 | 座長：田口 智章 |
| 休憩 | | |
| 12:00-12:45 | ランチョンセミナー・ライブデモ II 胎児治療における術前・術後超音波診断：何をどう見るのか？ 中田 雅彦（東邦大学医療センター大森病院 産婦人科） 住江 正大（福岡市立こども病院 周産期センター） | 座長：田中 守 |
| 幹事会 ※場所につきましては、別途ご案内いたします。 | | |
| 休憩 | | |
| 13:00-13:15 | 総会 | |
| 13:20-15:00 | ワークショップ シャント術の適応と問題点 | 座長：川緒 市郎 前野 泰樹 |
| 15:00 | 閉会の挨拶 | 村越 毅 |

演者・座長の皆さまへ

座長の皆さまへ

1. 座長はセッション開始 30 分前までに受付を済ませていただき、次座長席でお待ちください。
2. 今回は、プログラムがタイトなため出来るだけ時間厳守をお願いします。セッションの進行は座長に一任します。

演者の皆さまへ

1. 演者はセッション開始 30 分前までに PC 受付で登録を済ませてください。
2. 発表時間は、一般演題 7 分（発表 3 分＋質疑 4 分）、シンポジウムは 17 分（発表 12 分＋質疑 5 分）、ワークショップは 10 分（発表 5 分＋質疑 5 分）です。シンポジウムとワークショップでは総合討論の時間も設けてあります。一般演題およびワークショップでは出来るだけ多くのディスカッションを行いたいため、発表時間は短くなっています。疾患の一般的な概要などは既知のものとして飛ばしていただき、直接本題に入ってください。
3. シンポジウムのスライドは英語で作成してください（発表は日本語でもかまいません）。
4. 発表形式：
 - PowerPoint による PC プレゼンテーションのみといたします。プロジェクタの解像度は 1280×800 です。4：3 で作成された場合は左右に黒い縦帯が映写されます。
 - 当日発表に使用するパソコンは Windows7 です。PowerPoint 2007、2010 に対応いたします。
 - Macintosh ならびに動画がある方は、PC 本体をお持ち込みください。電源ケーブル、ミニ D-sub15 ピン変換コネクタ、バックアップデータも併せてお持ちください。
 - 発表時のスライドの送り（戻り）は、演台上のマウスで操作してください。レーザーポインタも演台上に用意してあります。
5. 質疑応答：
 - ご質問される方は予めマイクの前でご用意ください。
 - スムーズなプログラムの進行にご協力のほどお願いいたします。

プログラム

11月19日（土）

開会の挨拶 9:20

第14回会長 聖隷浜松病院 産婦人科・総合周産期母子医療センター 村越 毅

シンポジウム：胎児治療の新技术 9:30-12:30

座長：左合 治彦（国立成育医療研究センター 副病院長、周産期・母性診療センター長）
金山 尚裕（浜松医科大学 産婦人科）

Keynote lecture

“The Cutting Edge of Fetal Therapy: Surgical, Cellular, and Genetic Therapies for the Fetus”

Prof. Alan W. Flake

Children's Hospital of Philadelphia

S-1 1,25(OH)2D3 を用いたラット先天性横隔膜ヘルニアモデルに対する胎児治療の可能性
伊藤 由美子（名古屋大学大学院 医学系研究科 産婦人科学教室）

S-2 ヒト羊水幹細胞がマウス皮膚創傷治癒に与える影響
福武 麻里絵（慶應義塾大学医学部 産婦人科）

S-3 胎仔脊髄髄膜瘤モデルに対する細胞スフェロイドを用いた再生医療
渡邊 美穂（The Department of Surgery and Children's Center for Fetal Research,
Children's Hospital of Philadelphia）

S-4 胎児内視鏡を用いた二分脊椎症手術の現状と可能性：手術方法から小児期神経予後まで
石井 陽一郎（German Center for Fetal Surgery & Minimally Invasive Therapy,
University Hospital Giessen-Marburg
群馬大学医学部附属病院 小児科）

S-5 High intensity focused ultrasound (HIFU) における焦点ナビゲーション、高フレームレート
撮像でのキャビテーション可視化および、胎児観察に関する基礎的検討
瀬尾 晃平（昭和大学横浜市北部病院 産婦人科）

S-6 胎児発育不全に対するタダラフィル投与の安全性
久保 倫子（三重大学附属病院 産科婦人科）

S-7 新規胎児オキシメータを用いた胎児管理
川合 健太（浜松医科大学 産婦人科）

ランチョンセミナー・ライブデモ I 12:45-13:30

座長：馬場 一憲（埼玉医科大学総合周産期母子医療センター 母体胎児部門）
胎児治療における超音波診断装置の使い方：特に、侵襲的胎児治療（胎児胸腔羊水腔シャント・臍帯穿刺・羊水注入）でのコツ

高橋 雄一郎、岩垣 重紀（長良医療センター 産科）

Session I 一般演題：胎児貧血・輸血 14:00-14:35

座長：室月 淳（宮城県立こども病院 産科、東北大学大学院医学系研究科先進成育医学講座）

- 1 出生後に α サラセミアの診断に至った胎児高拍出性心不全を呈した一例
太崎 友紀子（福岡市立こども病院 産科）
- 2 Rh 不適合に対する胎児輸血後に児由来血球が検出されなくなった 1 症例
佐藤 由佳（九州大学病院 産科婦人科）
- 3 妊娠 16 週のパルボウイルス B19 感染胎児に対して胎児輸血を行った一症例
浅井 一彦（長良医療センター 産科）
- 4 当院における PUBS-IUT 症例の検討
野口 翔平（聖隷浜松病院 総合周産期母子医療センター 周産期科）
- 5 一絨毛膜二羊膜双胎における一児胎児死亡後の胎児輸血症例の予後
神田 昌子（大阪府立母子保健総合医療センター 産科）

Session II 一般演題：心臓 14:35-14:56

座長：与田 仁志（東邦大学医療センター大森病院 新生児科）

- 6 興味ある胎児循環症例～Fetal Critical Aortic Stenosis～
助川 幸（順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科）
- 7 診断時には左心低形成症候群への進行の予測が困難であった胎児大動脈弁狭窄の 1 例
加地 剛（徳島大学病院 産婦人科）
- 8 胎児重症大動脈弁狭窄に対する胎児バルーン大動脈弁形成術の適応・施行時期についての検討
森根 幹生（四国こどもとおとなの医療センター 産婦人科）

Session III 一般演題：双胎 15:00-15:42

座長：市塚 清健（昭和大学横浜市北部病院 産婦人科）

- 9 中大脳動脈最高血流速度が異なる推移を示した twin anemia polycythemia sequence の 2 例
住江 正大（福岡市立こども病院 周産期センター）

- 10 当院で扱った Twin reversed arterial perfusion (TRAP) sequence に関する検討
寺田 周平 (聖隷浜松病院 総合周産期母子医療センター 周産期科)
- 11 興味ある胎児循環症例~ TTTS Stage I であるが、心筋症を来した TAPS、受血児の一例~
高橋 雄一郎 (長良医療センター 産科)
- 12 双胎間輸血症候群の受血児における UV flow volume 低下例の心機能
中村 紀友喜 (国立成育医療研究センター 周産期母子医療センター)
- 13 双胎間輸血症候群の受血児における心室拡張能を表す指標の評価
小澤 克典 (国立成育医療研究センター 胎児診療科)
- 14 TTTS, selective IUGR 症例における Dual gate Doppler 法を用いた E/e'の有用性に関する
検討
鷹野 真由実 (東邦大学医療センター大森病院 産婦人科)

SessionIV 一般演題:双胎間輸血症候群 1 16:00-16:42

- 座長:高橋 雄一郎 (長良医療センター 産科)
- 15 当院にて開始した胎児鏡下胎盤吻合血管レーザー凝固術
村田 晋 (川崎医科大学附属病院 産婦人科)
- 16 当院で施行した胎児鏡下胎盤吻合血管レーザー凝固術の検討
鷹野 真由実 (東邦大学医療センター大森病院 産婦人科)
- 17 双胎間輸血症候群における子宮内一児発育遅延合併の有無による予後への影響
今野 寛子 (聖隷浜松病院 総合周産期母子医療センター 周産期科)
- 18 当センターにおいて胎児鏡下レーザー手術を施行した Selective IUGR を伴う一絨毛膜双胎
の周産期予後
石井 桂介 (大阪府立母子保健総合医療センター 産科)
- 19 Amniotic Fluid Discordance adjoining TTTS に対する胎児鏡下胎盤吻合血管レーザー凝
固術の臨床試験における児の長期予後
小澤 克典 (国立成育医療研究センター 胎児診療科)
- 20 TTTS を発症した一羊膜双胎に対する FLP の経験
川口 晴菜 (大阪府立母子保健総合医療センター 産科)

Session V 一般演題：双胎間輸血症候群 2 16:45-17:20

座長：中田 雅彦（東邦大学医療センター大森病院 産婦人科）

- 21 双胎間輸血症候群に対するレーザー焼灼術後の一児死亡の発症時期と関連する産科的因子の検討

山下 亜貴子（聖隷浜松病院 総合周産期母子医療センター 周産期科）

- 22 胎児鏡下レーザー凝固術後の卵膜損傷の頻度および予後との関連

山本 亮（大阪府立母子保健総合医療センター 産科）

- 23 一児の機能的肺動脈閉鎖指摘後に TTTS へと進行し、レーザー治療後に良好な新生児経過を得た MD 双胎の一例

梅村 なほみ（東邦大学医療センター大森病院 産婦人科）

- 24 当院における胎児鏡下胎盤吻合血管レーザー凝固術に対する脊髄くも膜下硬膜外麻酔と硬膜外麻酔単独の比較

大場 翔太（聖隷浜松病院 麻酔科）

- 25 双胎間輸血症候群（TTTS）における胎児鏡下胎盤吻合血管レーザー凝固術（FLP）の術前術後には正球性正色素貧血になりやすい

森川 守（北海道大学病院 周産母子センター 産科）

特別講演 I 胎児治療のパイオニア：技術革新と伝承 17:30-18:30

座長：石井 桂介（大阪府立母子保健総合医療センター 産科）

胎児治療の黎明期

千葉 喜英（千葉産婦人科 院長）

シャントチューブ開発を振り返って思うこと

小林 秀樹（福津中央ウィメンズクリニック 院長）

懇親会 19:30-21:30

11月20日(日)

モーニングセミナー・ライブデモ 7:45-8:45

座長：松下 充（聖隷浜松病院 総合周産期母子医療センター 周産期科）
ファントムを使用した胎児治療デモ（PUBS/TAS）
宮下 進（獨協医科大学病院 総合周産期母子医療センター産科部門）
石井 桂介（大阪府立母子保健総合医療センター 産科）

特別講演Ⅱ 胎児治療の最先端 9:00-9:45

座長：北川 博昭（聖マリアンナ医科大学 小児外科）
“Extracorporeal Support of the Premature Infant - Extending Fetal Physiology Beyond the Womb”
Prof. Alan W. Flake
Children’s Hospital of Philadelphia

SessionⅥ 一般演題：LUTO 9:50-10:11

- 座長：坂井 清英（宮城県立こども病院 泌尿器科）
- 26 胎児の腎機能障害が疑われたが膀胱羊水腔シャント術を施行した下部尿路閉塞の1例
笹原 淳（大阪府立母子保健総合医療センター 産科）
 - 27 胎児下部尿路閉塞症に対し胎児治療を施行した4例の検討
小島 有喜（国立成育医療研究センター 産科）
 - 28 妊娠第2三半期早期までに診断された胎児巨大膀胱症例の転帰
山本 亮（大阪府立母子保健総合医療センター 産科）

SessionⅦ 一般演題：胸部疾患 10:15-10:36

- 座長：米倉 竹夫（近畿大学医学部奈良病院 小児外科）
- 29 胎児肺嚢胞性疾患の超音波診断と生後診断の比較と周産期予後
杉林 里佳（国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター 胎児診療科）
 - 30 出生前診断した先天性右横隔膜ヘルニア症例の臨床的検討
甲斐 翔太郎（九州大学病院 産科婦人科）
 - 31 我が国における先天性横隔膜ヘルニアに対する胎児鏡下気管閉塞術の早期安全性試験
和田 誠司（国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター）

SessionVIII 一般演題：外科疾患・その他 11:00-11:42

座長：田口 智章（九州大学 小児外科）

32 脊髄髄膜瘤と脊髄披裂 神経機能予後に差異はあるのか
渡邊 美穂（Cincinnati children's hospital Medical center, surgery）

33 胎児仙尾部奇形腫に対するラジオ波焼灼術のタイミングの重要性を痛感した一例
岩垣 重紀（長良医療センター 産科）

34 腹壁異常における臨床像の差異はなぜ起きるのか？ - 羊胎仔腹壁異常モデルを用いた検討 -
大林 樹真（聖マリアンナ医科大学 外科学小児外科・病理診断科）

35 胎児診断されたリンパ管奇形 22 例の検討
渡邊 美穂（Cincinnati children's hospital Medical center, surgery）

36 上顎体による上気道閉塞が疑われた骨盤位の胎児に対して子宮体上部切開にて EXIT を施行した 1 例
設楽 理恵子（東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科）

37 当院における胎児染色体異常症例の転帰について
遠藤 誠之（大阪大学産婦人科 大阪大学医学部附属病院胎児診断治療センター）

ランチョンセミナー・ライブデモ II 12:00-12:45

座長：田中 守（慶應義塾大学医学部 産婦人科）

胎児治療における術前・術後超音波診断：何をどう見るのか？

中田 雅彦（東邦大学医療センター大森病院 産婦人科）

住江 正大（福岡市立こども病院 周産期センター）

幹事会 12:00-12:45

総会 13:00-13:15

ワークショップ シヤント術の適応と問題点 13:20-15:00

座長：川籾 市郎（松波総合病院 周産期医療対策室長）

前野 泰樹（久留米大学 総合周産母子医療センター）

W-1 当科における胎児胸水 92 症例の長期予後も含めた転帰について
松井 雅子（長良医療センター 産科）

W-2 当センターにおける先天性胎児胸水に対する胎児胸腔羊水腔シヤント術の成績
長谷川 瑛洋（聖隷浜松病院 総合周産期母子医療センター 周産期科）

- W-3 胎児胸腔羊水腔シャント術の予後に関連する超音波所見
須山 文緒（国立成育医療研究センター 周産期母性診療センター 胎児診療科）
- W-4 嚢胞羊水腔シャント術を施行した CPAM macrocystic type 10 例の検討
串本 卓哉（国立成育医療研究センター）
- W-5 肺分画症に合併した胎児胸水に対する胸腔羊水腔シャント術の施行経験
川口 晴菜（大阪府立母子保健総合医療センター 産科）
- W-6 胎児水腫を伴う CCAM に対し胸腔羊水腔シャントと母体ステロイド投与による胎児治療と ECMO 下肺切除を施行した 1 例
高間 勇一（大阪大学 胎児診断治療センター、小児成育外科）
- W-7 TAS により胎児水腫改善を認めたが乳児期呼吸循環不全を来たし乳児死亡に至った原発性胎児胸水貯留の 1 例
永井 立平（高知医療センター 産科）
- W-8 胎児胸腔羊水腔シャント術を施行し胎児水腫は改善したが Mirror 症候群に至った一例
武藤 愛（久留米大学 総合周産期母子医療センター 産科）

閉会の挨拶 15:00

第 14 回会長 聖隷浜松病院 産婦人科・総合周産期母子医療センター 村越 毅